

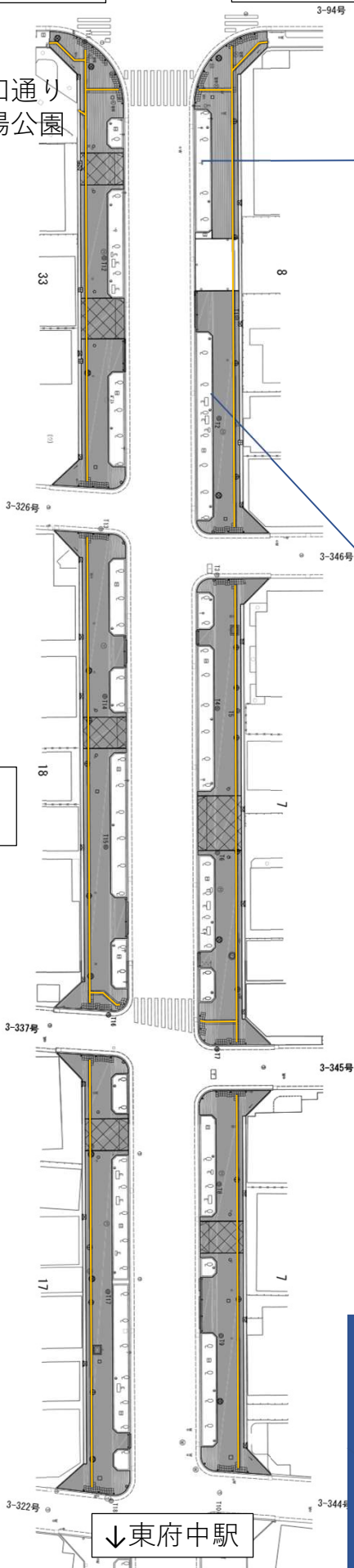
平和通り歩道改良工事におけるバリアフリー対応検討事項の概要

←府中の森芸術劇場

府中基地→

平和通り
広場公園

緑町三丁目



平面図

↓東府中駅

・・・まち歩き意見を受けて整備に反映された内容

歩道の舗装の更新
(全面)

- 透水性アスファルト舗装を採用
- タイルなどのがたつきがなく、平坦で、水たまりになりにくい舗装

主な意見

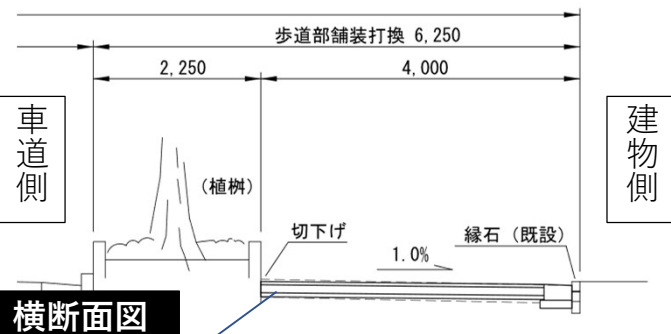
- 舗装が劣化しており、足が引っかかるところがある
- 車椅子のタイヤが引っかかる

視覚障害者誘導用
ブロックの更新

- 整備区間内はJIS規格に適合した黄色のブロックに統一される
- 舗装がアスファルトになるので、色の違いによる視認性が高まる
- 敷地境界から60cm程度の位置に連続設置し、不要な曲がりなどは解消
- マンホール上も途切れないように留意
- 交差点接続部は、対岸の視覚障害者誘導用ブロックの方向との整合に配慮（エスコートゾーンが設置された場合は連続的な誘導が実現できるように）

主な意見

- 誘導用ブロックの規格がJIS規格に統一されるとよい
- 誘導用ブロックが途切れているところがある
- 動線と誘導用ブロックがずれている
- 点状ブロックが道路境界ぎりぎりにある
- 誘導用ブロックの急な曲がりがないようにしてほしい
- マンホール上の誘導用ブロックが途切れていたり、向きが合っていないところがある
- 誘導用ブロックの維持管理が必要
- 横断歩道を渡る人が植栽にぶつかる



横断面図

歩道構造の改善

- 植栽帯に近い部分の歩道を切り下げ、歩道の横断勾配を1%程度に改善

主な意見

- 西側の歩道の横断勾配がきつい

今回の工事では改善が難しい今後の配慮事項

- 車椅子使用者と視覚障害者双方にとってわかりやすい歩車道境界
- 点状ブロック付近の車止めの撤去・移設
- 車椅子でも乗り入れやすい沿道店舗段差
- 横断歩道・信号機に関する事項（警視庁による対応）など

主な意見

- 歩道と車道の段差がわかりにくい
- ポールが誘導用ブロックの延長線上にある
- 沿道店舗の出入口に段差がある
- エスコートゾーンや音響式信号機等を設置